経済指標ウォッチャー

7月米国雇用統計 引き続き雇用環境は極めて良好

今回の結果を受け、9月FOMCで0.75％利上げの見方が優勢に

米国雇用統計とは？
米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月の第１金曜日に公表される。
米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

2022年7月の失業率がコロナ禍前の水準に

5日に米国労働省が発表した7月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比52.8万人増と市場予想の同25.0万人増を大きく上回りました。失業率は3.5%とコロナ禍前の2020年２月の水準まで低下しています(図表1)。先月に続いて、人手不足に悩まされている「接客・レジャー」などのサービス業を中心に広範囲で雇用者数が増加しています。

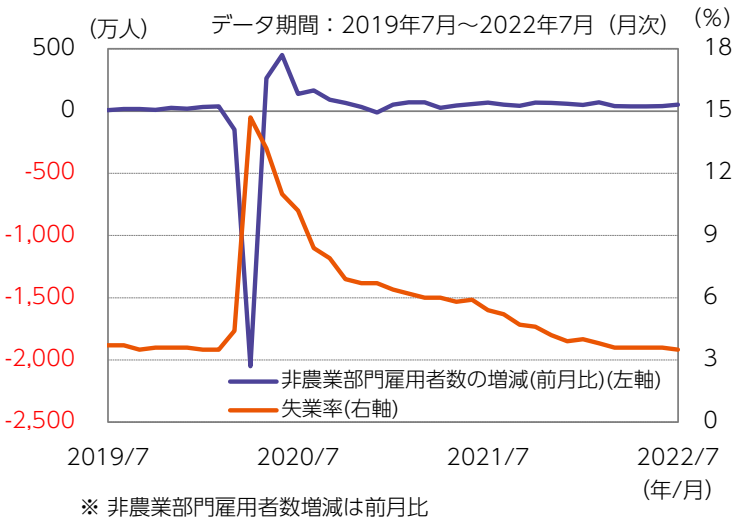
次回FOMCで0.75％の利上げの見方が優勢に

非農業部門雇用者数はコロナ禍前の2020年2月を上回り(図表2)、労働市場の底堅さを示す結果となりました。16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は62.1％と前月の62.2％から低下しました(図表2)。直近の求人数は約1,070万人と高い水準を維持しており、企業の採用意欲は強いとみられるものの、労働参加率が低下したことから、企業の人手不足解消には時間がかかるものとみられます。

7月の労働者の平均時給は前月比＋0.5％と6月の同＋0.4％から伸びが加速、前年同月比でも＋5.2％と7カ月連続で5％を上回っていることから、賃金上昇圧力は依然として強い状態にあります。

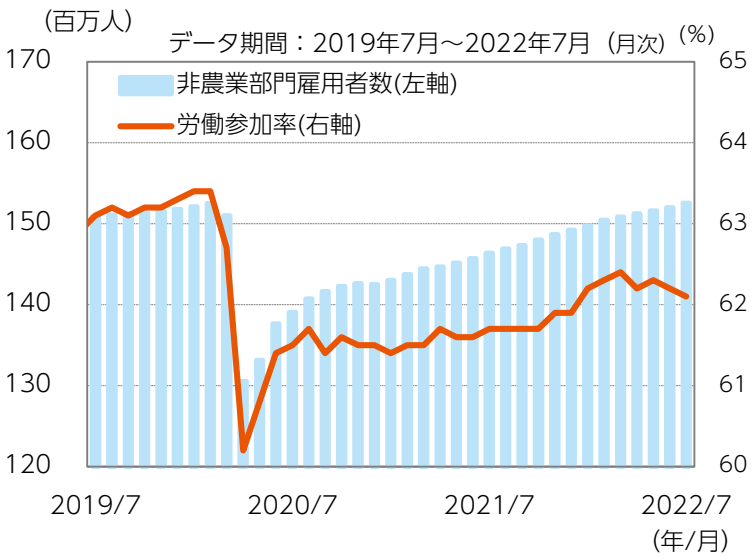
市場にあった米景気は後退局面入りしたとの見方を否定する結果となり、FRB(米連邦準備制度理事会)の労働市場は底堅く、景気後退局面にはないとの見方を後押しするものとなりました。市場ではインフレ高止まりにより９月のFOMC(米連邦公開市場委員会)でも0.75％利上げが実施されるとの見方が優勢となっており、今後発表されるインフレ指標や来月の雇用統計にさらに市場の注目が集まるものと思われます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



※ 非農業部門雇用者数増減は前月比

図表２：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

＜設定・運用＞

ニッセイアセットマネジメント株式会社

商 号 等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター　0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ　https://www.nam.co.jp/